

西宮市子ども・子育て支援事業計画の新旧対照表

第2編 子育て支援に関する基本的な考え方 2. 基本的な視点

2. 基本的な視点

本計画は、計画期間における幼児期の学校教育・保育、地域子ども・子育て支援事業について「量の見込み」と「確保内容及びその方法」・「実施時期」を記載することを目的とし、第5編以降に各サービスについて明記していきますが、その考え方は以下に掲げる視点を踏まえたものとなります。

[1] すべての子どもが健やかに成長する社会をめざします

しっかりとした愛着が形成され、豊かな自然環境・文化的環境など周囲の環境と関わり合う中で、協調性・夢・希望を育み、出会いを喜び、感謝の気持ちを持って、主体的に生きていく力を培います。



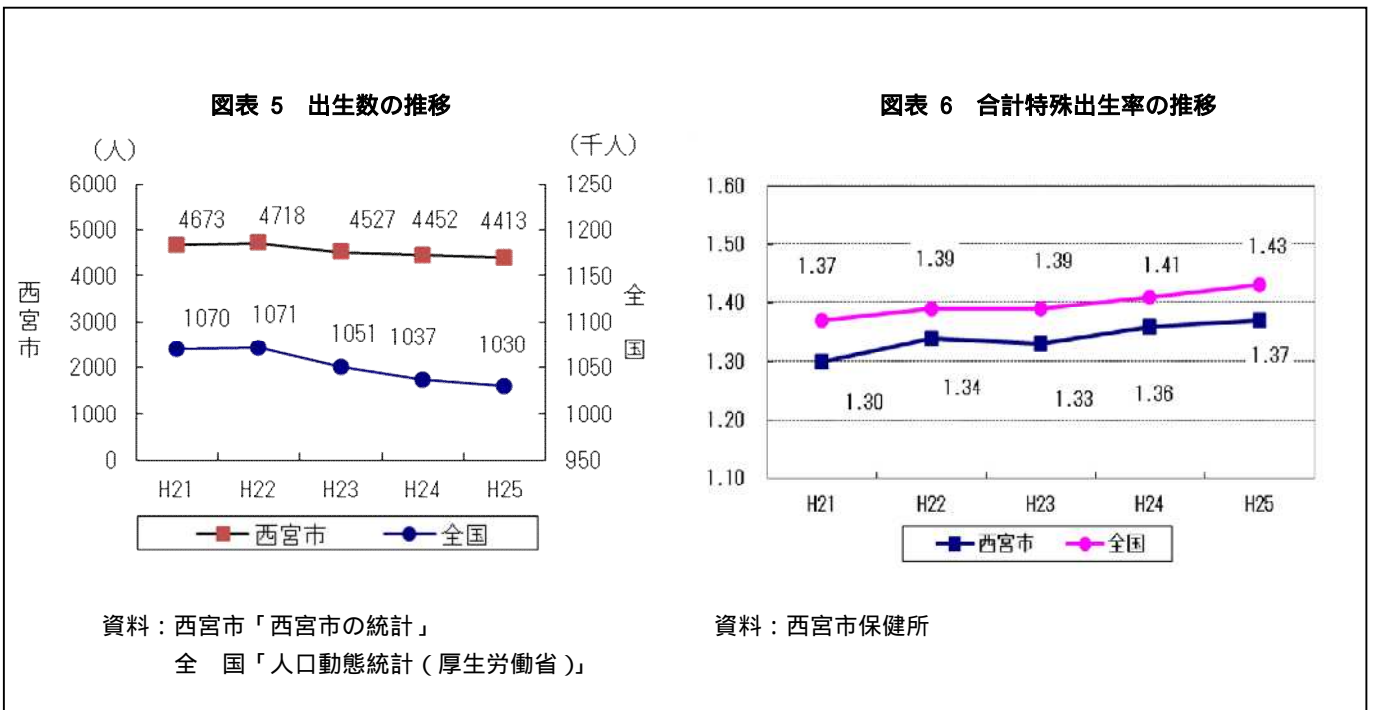
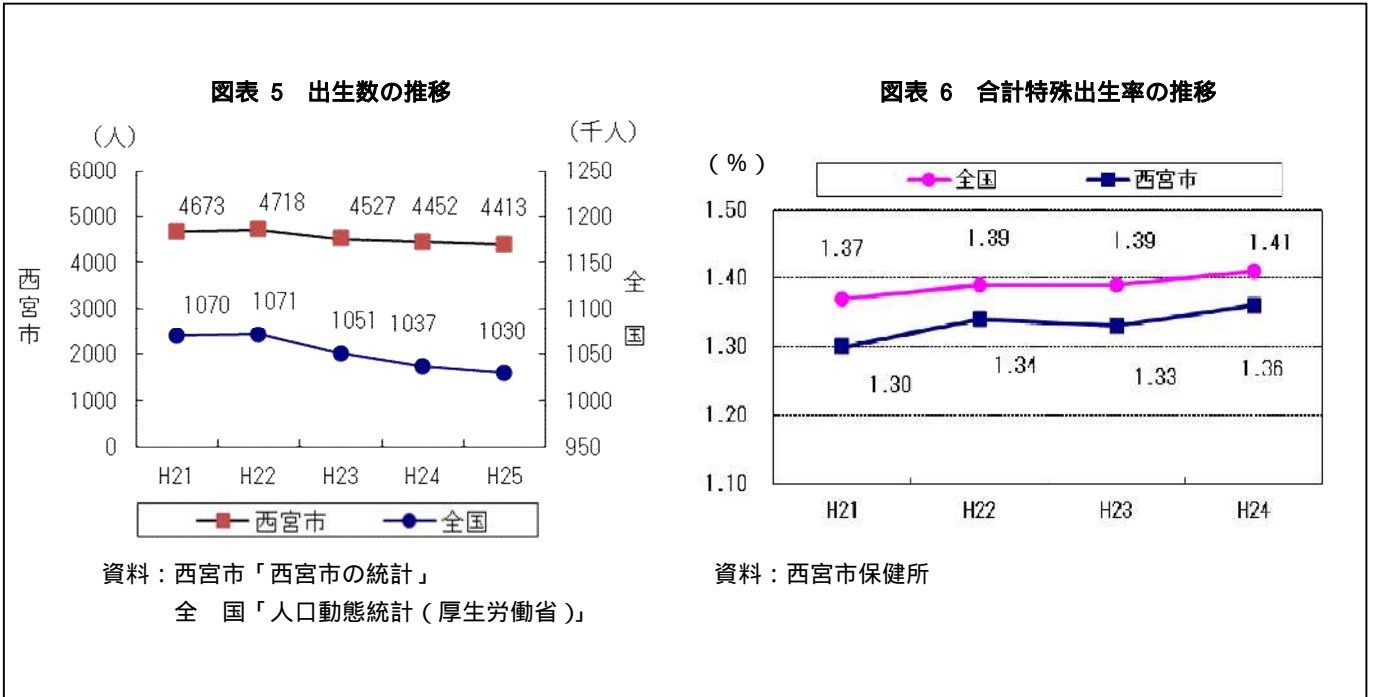
2. 基本的な視点

本計画は、計画期間における幼児期の学校教育・保育、地域子ども・子育て支援事業について「量の見込み」と「確保内容及びその方法」・「実施時期」を記載することを目的とし、第5編以降に各サービスについて明記していきますが、その考え方は以下に掲げる視点を踏まえたものとなります。

[1] すべての子どもが健やかに成長する社会をめざします

しっかりとした愛着形成がなされ、豊かな自然環境・文化的環境など周囲の環境と関わり合う中で、協調性・夢・希望を育み、出会いを喜び、感謝の気持ちを持って、主体的に生きていく力を培います。

第4編 子ども・子育てを取り巻く本市の現状 1. 人口の動向



第5編 計画の施策内容 1. 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の提供区域の設定

(2) 教育・保育の提供区域について

本市は、市域中央を六甲山系が東西に横断し、これを境に大きく北部と南部の2地域に分かれるといった地

と

さらに、施設の利用状況を踏まえ、それぞれの地域における各施設と施設の利用者の位置関係をみたときに、北部と南部をそれぞれにわたる利用が少ない実態がありました。こうしたことから、教育・保育の提供区域の設定を北部と南部の2区域に設定しました。

ただし、各事業における、施設整備やサービスの提供にあたっては、西宮市幼児期の教育・保育審議会で示されたブロック分けを基本にきめ細かなサービスを展開していきます。



(2) 教育・保育の提供区域について

本市は、市域中央を六甲山系が東西に横断し、これを境に大きく北部と南部の2地域に分かれるといった地

と

さらに、施設の利用状況を踏まえ、それぞれの地域における各施設と施設の利用者の位置関係をみたときに、北部と南部をそれぞれにわたる利用が少ない実態がありました。こうしたことから、教育・保育の提供区域の設定を北部と南部の2区域に設定しました。

ただし、新設整備やサービスの拡充など各事業の提供にあたっては、西宮市幼児期の教育・保育審議会で示された小学校区に応じた幼稚園、保育所、小学校の連携地区を基本としたブロック分けを用いて、きめ細かなサービスを展開していきます。

第5編 計画の施策内容 2. 教育・保育の量の見込み及び確保方策

【全市】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	9,394人	9,340人	9,244人	8,982人	8,693人
1号認定	7,744人	7,699人	7,619人	7,394人	7,144人
2号認定（学校教育の利用希望）	1,650人	1,641人	1,625人	1,588人	1,549人
確保方策	9,394人	9,340人	9,244人	8,982人	8,693人
特定教育・保育施設	2,476人	3,586人	3,662人	3,400人	3,111人
確認を受けない幼稚園	6,918人	5,754人	5,582人	5,582人	5,582人

【北部】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	723人	696人	689人	696人	729人
1号認定	496人	478人	470人	477人	500人
2号認定（学校教育の利用希望）	227人	218人	219人	219人	229人
確保方策	723人	696人	689人	696人	729人
特定教育・保育施設	171人	355人	348人	355人	388人
確認を受けない幼稚園	552人	341人	341人	341人	341人

【南部】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	8,671人	8,644人	8,555人	8,286人	7,964人
1号認定	7,248人	7,221人	7,149人	6,917人	6,644人
2号認定（学校教育の利用希望）	1,423人	1,423人	1,406人	1,369人	1,320人
確保方策	8,671人	8,644人	8,555人	8,286人	7,964人
特定教育・保育施設	2,305人	3,231人	3,314人	3,045人	2,723人
確認を受けない幼稚園	6,366人	5,413人	5,241人	5,241人	5,241人



【全市】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	9,394 人	9,340 人	9,244 人	8,982 人	8,693 人
1号認定	7,744 人	7,699 人	7,619 人	7,394 人	7,144 人
2号認定（学校教育の利用希望）	1,650 人	1,641 人	1,625 人	1,588 人	1,549 人
確保方策	9,394 人	9,340 人	9,244 人	8,982 人	8,693 人
特定教育・保育施設	2,988 人	3,829 人	3,913 人	3,750 人	3,602 人
確認を受けない幼稚園	6,406 人	5,511 人	5,331 人	5,232 人	5,091 人

【北部】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	723 人	696 人	689 人	696 人	729 人
1号認定	496 人	478 人	470 人	477 人	500 人
2号認定（学校教育の利用希望）	227 人	218 人	219 人	219 人	229 人
確保方策	723 人	696 人	689 人	696 人	729 人
特定教育・保育施設	310 人	421 人	416 人	421 人	441 人
確認を受けない幼稚園	413 人	275 人	273 人	275 人	288 人

【南部】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	8,671 人	8,644 人	8,555 人	8,286 人	7,964 人
1号認定	7,248 人	7,221 人	7,149 人	6,917 人	6,644 人
2号認定（学校教育の利用希望）	1,423 人	1,423 人	1,406 人	1,369 人	1,320 人
確保方策	8,671 人	8,644 人	8,555 人	8,286 人	7,964 人
特定教育・保育施設	2,678 人	3,408 人	3,497 人	3,329 人	3,161 人
確認を受けない幼稚園	5,993 人	5,236 人	5,058 人	4,957 人	4,803 人

第5編 計画の施策内容 2. 教育・保育の量の見込み及び確保方策

(8) 今後の方向性

教育・保育の量の見込みに対しては、引き続き、既存の認定こども園、幼稚園、保育所や小規模保育等の地域型保育事業で入所枠を確保していきます。

また、2号認定・3号認定子どもの量の見込み（保育需要）については、今後も増加していくものと考えていますが、将来的に予想される保育施設の供給過剰を避けるため、今後の保育所の待機児童対策にあたって、まずは、既存幼稚園から認定こども園への移行を促進し、既存施設の活用を図ることで、2号認定・3号認定子どもの入所枠を拡大していきます。

さらに、特に保育需要の高い3号認定子どもについては、認定こども園のほか、保育需要の地域偏在や年齢偏在に対応する有効な施策として進めてきた小規模保育事業について、認可外保育施設からの転用等の取り組みを進めていきます。

上記のことから、新設保育所の整備については、既存施設の配置状況や地域の保育需要を踏まえて検討していきます。



(8) 今後の方向性

教育・保育の量の見込みに対し、引き続き、既存の認定こども園、幼稚園、保育所や小規模保育等の地域型保育事業で入所枠を確保していきます。

また、2号認定・3号認定子どもの量の見込み（保育需要）については、増加傾向にあることから、今後も入所枠の拡大に取り組んでいきます。

具体的には、従来の保育所整備に加え、既存幼稚園から認定こども園への移行を促進し、既存施設の活用を図ることで、2号認定・3号認定子どもの入所枠を拡大していきます。

なお、特に保育需要の高い3号認定子どもについては、保育需要の地域偏在や年齢偏在に対応する有効な施策として進めてきた小規模保育事業について、職員配置における有資格者の割合が高いA型を中心に整備を進めることとし、認可外保育施設からの移行支援などにも取り組みながら充実に努めてまいります。

しかしながら、就学前児童数は減少傾向にあり、今後は、既存施設の配置状況や地域の保育需要など将来の少子化を見据えた検討も併せて行う必要があります。

第5編 計画の施策内容 3. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策

(利用者支援事業)

(1) 事業内容

子ども・子育て支援の推進にあたって、子ども及びその保護者等、又は妊娠している方が教育・保育施

と

本市では、平成26年1月から市役所本庁舎1階に「こども支援案内窓口」を設置し、子育てコンシェルジュを配置して「特定型」を実施しています。

(4) 今後の方向性

基本型については、子育て家庭や妊娠している方が集まりやすい地域の身近な場所で地域の子育て支援

と

特定型については、保育コンシェルジュの機能として、教育・保育に関する相談に応じ、個別のニーズに合った保育サービスの情報提供を行うことで、保護者ニーズと保育サービスを結びつけ、それぞれのニーズに適したサービスの提供を行います。



(1) 事業内容

子ども・子育て支援の推進にあたって、子ども及びその保護者等、又は妊娠している方が教育・保育施

と

本市では、平成26年1月から市役所本庁舎1階に「こども支援案内窓口」を設置し、子育てコンシェルジュを配置して「特定型」を実施しています。

保護者からの相談を受け、それぞれのニーズに合った子育て支援サービスについて情報を提供する専門の相談員

(4) 今後の方向性

基本型については、子育て家庭や妊娠している方が集まりやすい地域の身近な場所で地域の子育て支援

と

特定型については、市役所本庁舎1階に設置する「こども支援案内窓口」に子育てコンシェルジュを配置し、教育・保育に関する相談に応じるとともに、ニーズに合った保育サービスの情報提供を行うことで、保護者ニーズと保育サービスを結びつけ、それぞれのニーズに適したサービスの提供を行います。

第5編 計画の施策内容 3. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策

(放課後児童健全育成事業)

(5) 放課後の子どもの居場所

就労の有無、障害のある子どもや特別な支援が必要な家庭やひとり親家庭等、多様なニーズに対応するため、小学生の「放課後の子どもの居場所」として、小学生全員を対象に安全・安心な居場所を提供していく必要があります。

また、居場所の提供だけではなく、学習(宿題)や体験、運動、あそびのプログラム等、質の高いサービスを継続的に提供する必要もあります。

今後は、各種放課後事業の役割や機能の連携を活かした運営の一体化について検討を進めるため、市内部の関係部局において、全小学校での校庭開放事業のほか、余裕教室、放課後等に一時的に使われていない教室や社会教育施設等を活用することや教育と福祉の連携方策等の検討を進めていきます。



(5) 放課後の子どもの居場所

就労の有無、障害のある子どもや特別な支援が必要な家庭やひとり親家庭等、多様なニーズに対応するため、小学生の「放課後の子どもの居場所」として、小学生全員を対象に安全・安心な居場所を提供していく必要があります。

また、居場所の提供だけではなく、学習(宿題)や体験、運動、あそびのプログラム等、質の高いサービスを継続的に提供する必要もあります。

今後は、全小学校での校庭開放事業や、空き教室などを活用した学習室開放事業など、教育と福祉が連携しながら、各種放課後事業の役割や機能を活かした運営の一体化も含めた総合的な検討を進めていきます。

第5編 計画の施策内容 4. 子ども・子育て支援給付に係る教育・保育の一体的な提供や

その推進体制の確保（質の高い教育・保育の提供について）

（4）質の高い教育・保育の提供について

教育・保育の質の向上を図るため、本市ではこれまで待機児童の解消に向けた保育の量的拡大と合わせて様々な取り組みを進めてきました。

）

保育ルームや小規模保育等に対しては、保健師の巡回や運営をサポートする保育士の配置など体制の強化を図り、認可外保育施設には、年1回指導監査を実施し、必要に応じて改善指導を行うほか、保育の質の向上を図るための様々な研修を実施しています。今後は、全国的に課題となっている保育士不足の解消に努めるとともに、処遇のさらなる改善についても検討していきます。特に保育士の確保対策として、関係機関との連携を図りながら、潜在保育士の再就職を支援する取り組みを実施していきます。



（4）質の高い教育・保育の提供について

教育・保育の質の向上を図るため、本市ではこれまで待機児童の解消に向けた保育の量的拡大と合わせて様々な取り組みを進めてきました。

）

保育ルームや小規模保育等に対しては、保健師の巡回や運営をサポートする保育士の配置など体制の強化を図り、認可外保育施設には、年1回指導監査を実施し、必要に応じて改善指導を行うほか、保育の質の向上を図るための様々な研修を実施しています。今後は、全国的に課題となっている保育士不足の解消に努めるとともに、特に保育士の確保対策として、関係機関との連携を図りながら、潜在保育士の再就職を支援する取り組みを実施していきます。また、教育・保育施設等に従事する職員の処遇改善についても検討していきます。

第7編 資料編 2. ワークショップの実施

テーマ	意見（抜粋）
どんな子どもに育ってほしいですか？	<p>あいさつや感謝の言葉が言える、返事がすぐにできる 友達が大好き、思いやりがある、人の痛みが分かる、相手の立場になって考えられる 人との関係を大切にする、人と関わるのが楽しいと感じる、仲間と一緒に育つ</p>
子どもの遊び場はどんな場所？	<p>安全性を重視した広い公園や広場、周囲の交通量が少なく安全な公園、大人の目がある公の施設や場（みやっこキッズパークのような管理者がいるプレイパーク） 子どもも大人も行きたくなる場所、自然があり広々した場所、遊具よりも木・芝生のある自然豊かな公園、のびのび遊べる場所、自然にふれあいながら遊べる場所</p>



テーマ	意見（抜粋）
どんな子どもに育ってほしいですか？	<p>あいさつや感謝の言葉が言える、返事がすぐにできる 友達が大好き、思いやりがある、人の痛みが分かる、相手の立場になって考えられる 人との関係を大切にする、人と関わるのが楽しいと感じる、仲間と一緒に育つ</p>
子どもの遊び場はどんな場所？	<p>安全性を重視した広い公園や広場、周囲の交通量が少なく安全な公園、大人の目がある公の施設や場（みやっこキッズパークのような管理者がいる遊び場） 子どもも大人も行きたくなる場所、自然があり広々した場所、遊具よりも木・芝生のある自然豊かな公園、のびのび遊べる場所、自然にふれあいながら遊べる場所</p>

